

令和元年度 環境経営レポート



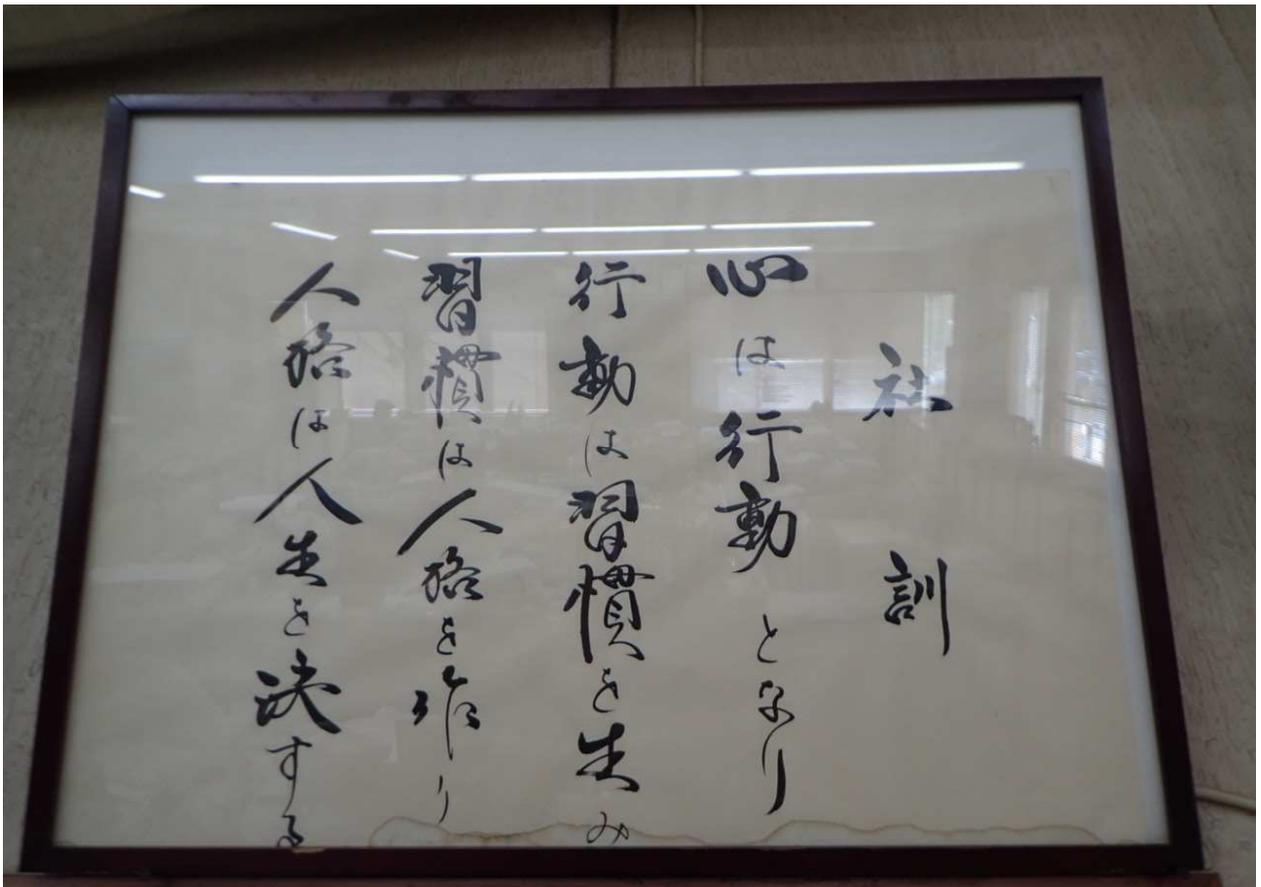
エコアクション21[®]
認証番号 0007580

自 令和元年7月1日 ~ 至 令和2年6月30日



藤野建設株式会社

令和2年8月21日 発行



社訓

心は行動となり

行動は習慣を生み

習慣は人格を作り

人格は人生を決する

藤野建設株式会社 環境経営しポート表紙

目次

	1. 環境経営方針・・・	1
	2. 事業活動の概要・・・	2
	3. 実施体制・・・	3
	4. 環境経営目標・・・	4
	5. 環境経営計画・・・	5
	6. 環境経営目標の実績・・・	6
	7. 環境経営計画結果・次年度の取組内容・・・	7
	8. 産業廃棄物処理実績・・・	19
	9. 環境関連法規・・・	20
	10. 代表者による評価と見直し・・・	21



1. 環境経営方針



環境理念



藤野建設株式会社は、事業活動による環境への影響を自覚し、環境営業を行うことにより、地域社会のより良い環境づくりと資源循環型社会に構築に貢献します。



環境方針



当社は、環境経営システムを構築し、運用する事により、継続的な環境負荷の軽減に努めます。

また、低炭素社会実現等、環境保全への建設業としての課題を明確にし、建設業だからこそ実施出来る地域社会への貢献を意識していきます。

上記を踏まえた上で、当社の事業活動において、環境に影響を及ぼす項目に対し、以下の内容を重点課題として取り組みます。

1. 環境配慮工事の推進
2. 環境関連法令の遵守
3. グリーン購入適合品(リサイクル製品)の購入推進
4. 二酸化炭素排出量(燃料及び電力等)の削減
5. 工事現場での環境保全への創意工夫・地域貢献の実施
6. 3R活動(リデュース・リユース・リサイクル)による廃棄物排出量の削減

環境方針は全社員へ周知徹底させ、環境活動に関しての教育を行い、環境保全の意識を向上させます。また、上記の環境活動を毎年7月から翌年6月までを1年とした環境レポートとしてまとめ、情報の開示に努めます。



2011年3月1日 制定
2020年4月1日 改定 (Ver.4)

藤野建設株式会社
代表取締役 藤野 慶一



2. 事業活動の概要

2-1. 事業所及び代表者名

藤野建設株式会社

代表取締役 藤野 慶一



2-2. 所在地及び連絡先

【本社】 〒431-1115

静岡県浜松市西区和地町6320番地

(TEL) 053-486-0239

(FAX) 053-486-3574

(E-mail) info@fujinokensetsu.co.jp

2-3. 事務局

倉田 茉奈(総務部)

名倉 美明(土木部)

2-4. 許可内容

- ・特定建設業 静岡県知事許可(特-2)第001247号
(土木工事業、とび・土工工事業、舗装工事業、しゅんせつ工事業、水道工事業、解体工事業)
- ・産業廃棄物収集運搬 県知事許可(第02202026944号)
有効期限 静岡県 令和3年2月9日
(収集運搬は自社排出のみ)

2-5. 設立

昭和35年3月1日

2-6. 事業規模・事業活動

資本金	3,000万円
売上高	1,258百万円(R1年度概算)
従業員	39名
延床面積	776.78㎡

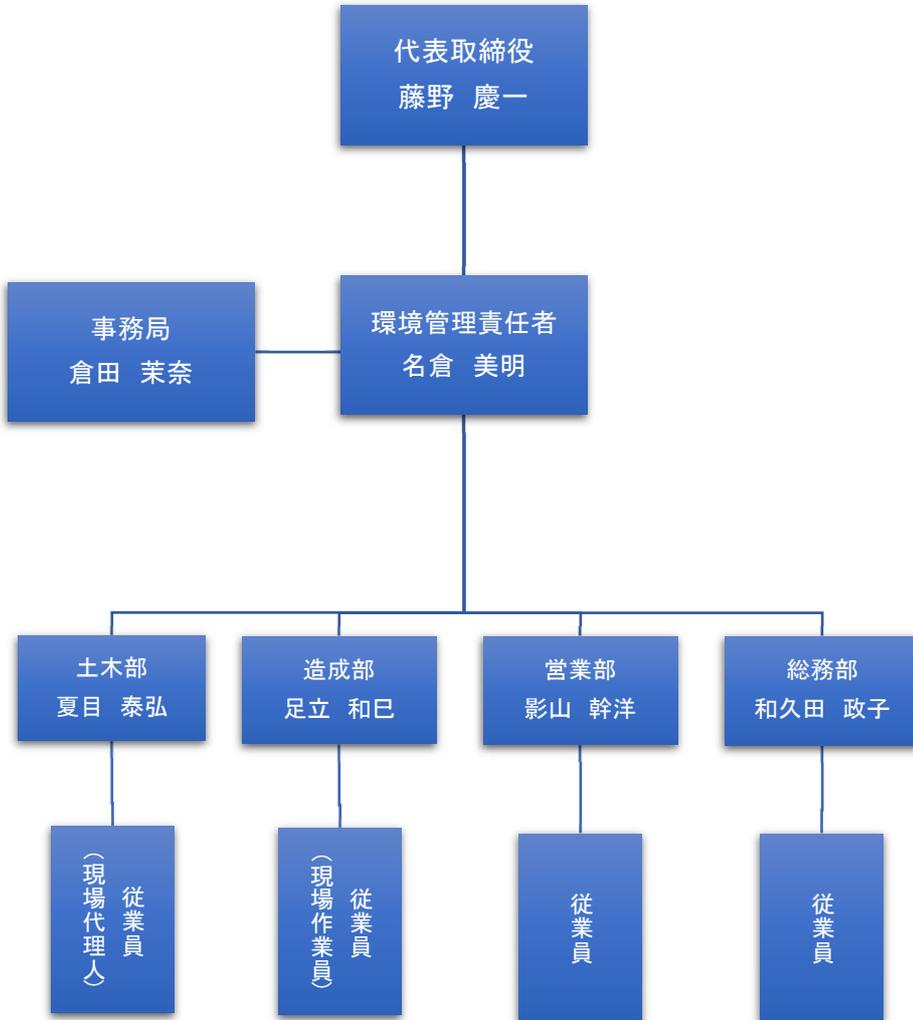
- ・総合建設業(土木工事業、とび・土工工事業、舗装工事業、浚渫工事業、水道工事業)
- ・土質改良土プラント(山土、山砂、山砂利、山碎石、改良土の販売)
- ・建設発生土の受け入れ

2-7. 対象範囲

対象範囲は、本社及び土質改良プラントで、全組織・全活動・全従業員を対象としていません。



3. 実施体制



- 役割・責任・権限
- (代表者)
- ・ 環境方針の設定、見直し
 - ・ 環境管理責任者の任命
 - ・ 資源(人員・設備・費用)の提供
 - ・ 取組状況の評価及び見直し

- (環境管理責任者)
- ・ 環境目標の設定
 - ・ 取組状況の確認
 - ・ 代表者への報告

- (事務局)
- ・ 環境活動実施計画書作成
 - ・ 環境活動レポート作成
 - ・ 環境関連法規等の取りまとめ
 - ・ 教育の実施
 - ・ 文書及び記録の維持管理

- (各部責任者)
- ・ 各部における環境経営システムの実施
 - ・ 環境経営システムの達成状況の報告

- (全従業員)
- ・ 個人における環境経営システムの実施



4. 環境経営目標



環境経営目標

設定購入電力CO2排出係数 0.486kg-CO2/kWh
(H27 中部電力)

環境目標項目		単位	場所	H29年度 (基準年度)	H30年度	R1年度	R2年度
CO2排出量 削減	電気 使用量	kWh	事務所	50,041	49,540 -1%	49,040 -2%	48,539 -3%
			現場	6,408	6,343 -1%	6,279 -2%	6,215 -3%
	ガソリン 使用量	L/売上	事務所	51.15	50.63 -1%	50.12 -2%	49.61 -3%
			現場	---	---	---	---
	軽油 使用量	L/売上	事務所	---	---	---	---
			現場	447.34	442.86 -1%	438.39 -2%	433.91 -3%
	二酸化炭素 排出量	kg-CO2	事務所	151,752	150,234 -1%	148,716 -2%	147,199 -3%
			現場	1,352,992	1,339,462 -1%	1,325,932 -2%	1,312,402 -3%
廃棄物削減	一般 廃棄物	kg	事務所	1,190	1,178 -1%	1,166 -2%	1,154 -3%
	産業廃棄物 リサイクル	%	現場	98.0	98.0% 以上	98.0% 以上	98.0% 以上
地域貢献 ボランティア	地域清掃	回/年	---	1回	1回	1回	1回
水資源節約		---	事務所	節水に努める			
グリーン購入		---	事務所	グリーンマーク商品の物品を積極的に採用する			
工事現場の環境配慮		---	現場	環境に配慮した施工及び施工機械を採用する			

※ 売上とは、今年度の売上を指し、環境換算指数＝ガソリン・軽油の各使用量/今年度売上高(百万円単位)とする。



5. 環境活動計画

対象	環境目標項目 取組み項目	取組み期間												備考	対象部署	責任者					
		7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月								
CO2排出量削減	①電気使用量の削減の取組み																				
	未使用時・休憩時の消灯	←															▶	通年	全従業員	倉田・名倉	
	本社内のスイッチにステッカーを掲示	←																▶	通年	全従業員	倉田・名倉
	未使用時、機器の電源を切る	←																▶	通年	全従業員	倉田・名倉
	節電機能のある機器の積極的活用	←																▶	通年	全従業員	倉田・名倉
	空調温度の管理を行う	←																▶	通年	全従業員	倉田・名倉
	室温設定(夏場26℃、冬場23℃)	○	○	○				○	○	○								▶	通年	全従業員	倉田・名倉
	②ガソリン・軽油使用量の削減																				
	工事用重機の整備点検を行う	←																▶	通年	現場部門	名倉 (各部責任者)
	毎朝作業前に自主点検を行う	←																▶	通年	現場部門	名倉 (各部責任者)
	工事用重機の省エネ運転の実施	←																▶	通年	現場部門	名倉 (各部責任者)
	過積載・過負荷による作業の防止	←																▶	通年	現場部門	名倉 (各部責任者)
	エコドライブの徹底	←																▶	通年	現場部門	名倉 (各部責任者)
	社用車の定期整備点検	○			○				○									▶	3ヶ月毎	社用車所有者	倉田
	③その他																				
照明灯を蛍光灯からLED灯に変更	←																▶	適宜	総務部門	倉田	
エコ家電の導入	←																▶	適宜	総務部門	倉田	
廃棄物搬出量削減	一般廃棄物・産業廃棄物削減																				
	ゴミの分別回収の実施	←																▶	通年	全従業員	倉田・名倉
	再生可能資源のリサイクル	←																▶	通年	全従業員	倉田・名倉
	紙資源排出量の削減	←																▶	通年	全従業員	倉田・名倉
	コピー用紙の両面使用	←																▶	通年	全従業員	倉田・名倉
	ペーパーレス化の推進	←																▶	通年	全従業員	倉田・名倉
ボランティア	ボランティア活動																				
	河川敷の清掃活動	←																▶	適宜	現場部門	名倉 (各部責任者)
	建設業協会主催の清掃活動への参加			○														▶	年1回	現場部門	名倉
	各工事現場の清掃活動の実施	←															▶	適宜	現場部門	名倉 (各部責任者)	
グリーン購入	グリーンマーク適合品の採用																				
	事務用品適合品の購入推進	←																▶	通年	全従業員	倉田・名倉
工事現場の環境配慮	工事現場の環境への配慮																				
	環境配慮型重機の使用	←																▶	通年	現場部門	名倉 (各部責任者)
	環境へ配慮した備品の整備、使用	←																▶	通年	現場部門	名倉 (各部責任者)
	環境を考慮した創意工夫・地域貢献実施	←															▶	通年	現場部門	名倉 (各部責任者)	
水資源	節水																				
	節水シール・呼びかけ	←																▶	通年	全従業員	倉田・名倉
	道路散水用の水の自然水利用	←																▶	通年	現場部門	名倉 (各部責任者)

※凡例



: 年間を通して「常に実施・意識」するもの



: 年間を通して「必要に応じて実施・検討」するもの



: 特に意識して実施する月



: 定期的 to 実施する月



6. 環境経営目標の実績



実績・評価

購入電力CO2排出係数
 単位(kg-CO2/kWh)
 事務所：0.602 (株)/Vルエネ
 現場：0.509 JXTGエネルギー(株)

環境目標項目	単位	場所	H29年度 基準年度	R1年度		目標値比	評価	備考
				目標値	実績値			
CO2排出量 削減	電気 使用量	事務所	50,041	49,040	35,085	71%	○	○ 100%以下 △ 101%~ 110%未満 × 111%以上
		現場	6,408	6,279	1,944	30%	○	
	ガソリン 使用量	事務所	51.15	50.12	39.53	78%	○	
		現場	-	-	-	-	-	
	軽油 使用量	事務所	-	-	-	-	-	
		現場	447.34	438.39	350.43	79%	○	
二酸化炭素 排出量	kg-CO2	事務所	151,752	157,966	136,453	86%	○	
		現場	1,352,992	1,330,396	1,138,140	85%	○	
廃棄物削減	一般 廃棄物	kg	事務所	1,190.0	1,166.0	900.0	77%	○
	産業廃棄物 リサイクル	%	現場	98.0	98.0	99.9	101%	○ × 100%未満
地域貢献 ボランティア	地域清掃	件/ 回	-	1.0	1.0	1.0	100%	○ 1回以上 × 0回
水資源の節約	-	事務所	節水に 努める	配慮出来た		100%	○	
グリーン購入	-	事務所	積極的に 採用する	実施出来た		100%	○	
工事現場の環境配慮	-	現場	意識して 実施する	実施出来た		100%	○	



ICTを活用した工事の実施

ICT活用工事



効率の良い現場施工



効率の良い重機の作業(低燃費作業=CO2削減)



i-Construction
対応重機導入





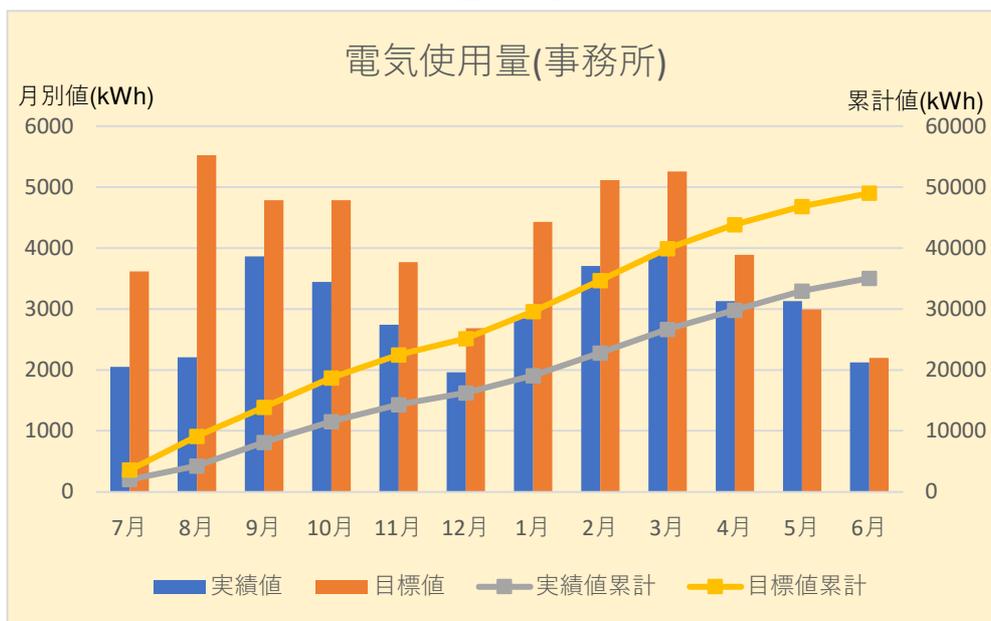
7. 環境経営計画結果・次年度の取組内容



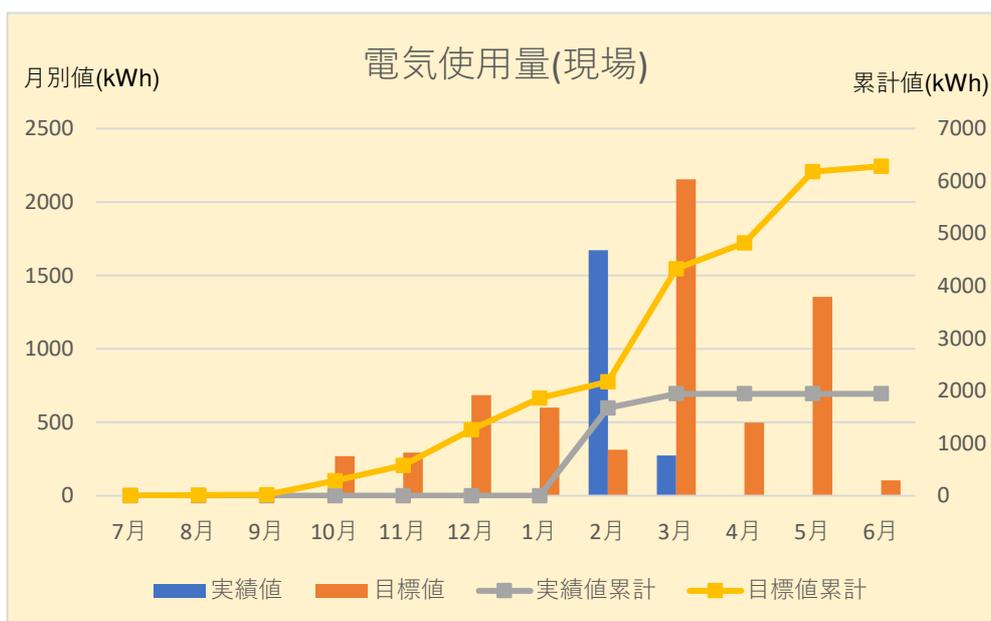
電気使用量の削減



取組結果



目標値	実績値	評価
49,040	35,085	○



目標値	実績値	評価
6,279	1,944	○



取組の評価

取組内容

- ・ 未使用時・休憩時の消灯 ○
- ・ 本社内のスイッチにステッカーを掲示 ○
- ・ 未使用時、機器の電源を切る ○
- ・ 節電機能のある機器を積極的に活用する ○
- ・ 空調温度の管理を行う ○
- ・ 室温を夏場26℃、冬場23℃程度になるよう設定する △

取組結果

※1 評価

○ よくできた △ ある程度できたが更に取り組みが必要 × できなかった(検討が必要)

取組評価

事務所電気の使用量については、月毎の目標値より2～3割の削減を実施出来ました。要因としては節電対応の電化製品の導入・活用と、節電の意識が目標設定時よりも高まっていることが考えられます。ただ、4月以降の削減率は横ばいです。新型コロナの影響による外出自粛等により、事務所勤務が増えた事により、各事務工程における使用量が増加していると思われます。次年度以降の要観察事項です。

現場電気の使用量については、土砂改良プラントの稼働が、外的要因に左右される為(販売・注文状況等)、基準年度との明確な比較は難しい状況なので、通年での観察となってしまいます。その中で、漏電チェック等定期点検は常時、実施しています。

来年度取組目標

事務所電気使用量については、節電製品の入れ換えはある程度完了し、ハード面は充実しました。次年度以降は、使う側(ソフト面)の意識と工夫により、節電に努めていこうと思います。また、今後も続いていくであろう「新しい生活様式」への対応とその中での、節電への工夫等、情報の収集と実行について考えていきたいと思っています。

数値的な目標と取組みについては、必要に応じて作業手順書や取組み目標をアップデートしていきたいと思っています。



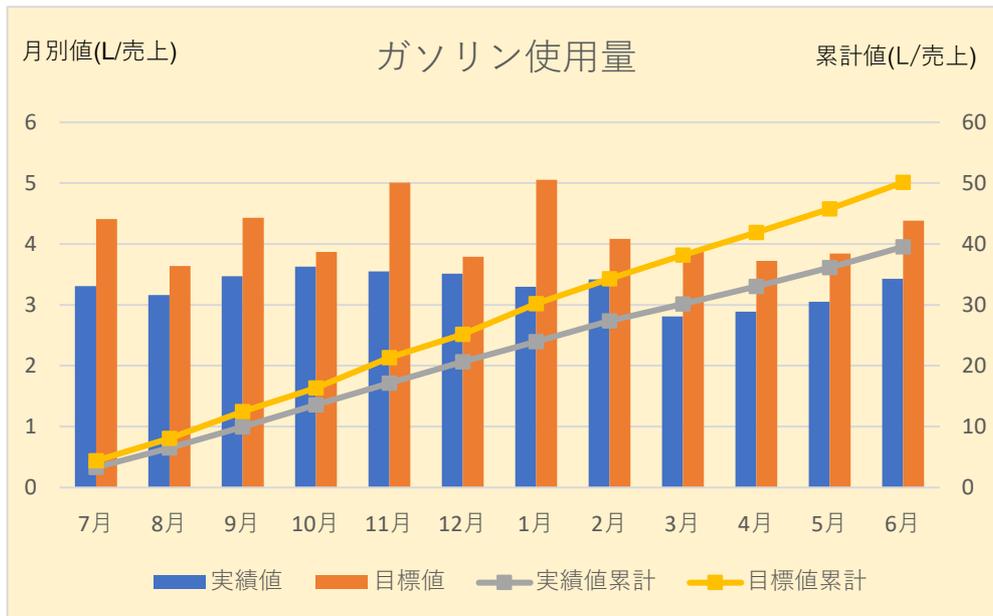
ステッカーの表示



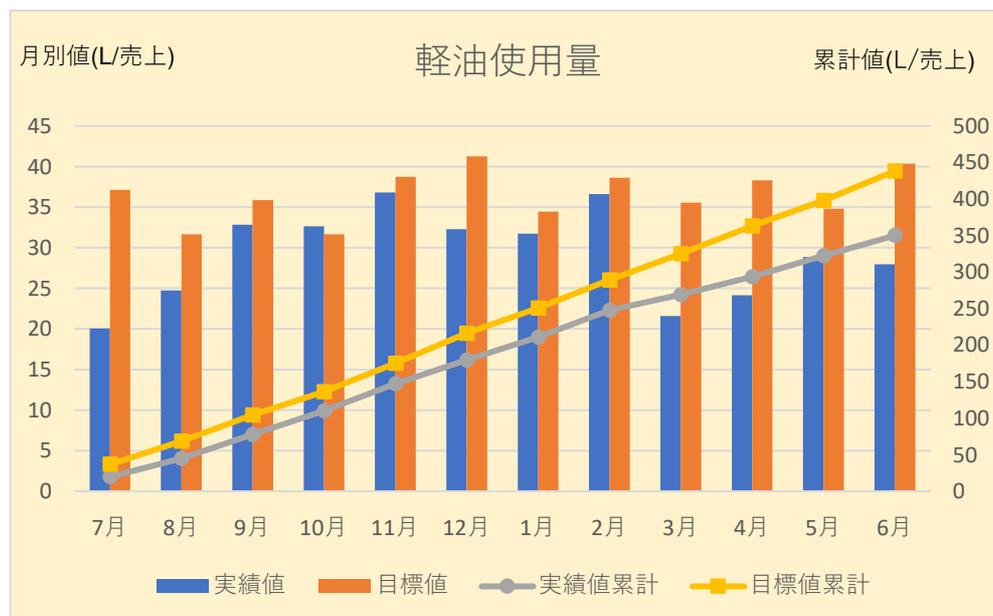
ガソリン・軽油使用量の削減



取組結果



目標値	実績値	評価
50.12	39.53	○



目標値	実績値	評価
438.39	350.43	○



取組の評価

取組内容

- ・ 工事用重機の整備点検を行う
- ・ 毎朝作業前に自主点検を行う
- ・ 工事用重機の省エネ運転の実施
- ・ 過積載・過負荷による作業の防止
- ・ エコドライブの徹底
- ・ 社用車の定期整備点検

取組結果

-
-
-
-
-
-

取組評価

ガソリンと軽油の使用量は共に、昨年度よりも大きく改善されています。分母となる売上自体は昨年度とほぼ同一の中で、改善されていることから、燃費を考慮した運転や工事作業を実施出来ている証拠だと思われます。軽油使用量については、天候等にも大きく影響されるもので、例年より月毎のバラつきの幅は見られているものの、ダンプ燃費についても、例年並みの数値の為、評価できる結果です。

来年度取組目標

各現場毎にICTを用いた工事の実施が増えており、現場使用重機の燃費も向上していると思われるので、来年度以降も積極的な導入と実施を心掛け、重機燃費の向上に繋がれたらと思います。

ガソリン使用量については、記録的な天候異常が続く中、現場で涼をとる中で、自家用車・社用車のアイドリングも増えると思います。アイドリングの減少の為にも現場事務所の開放や、日陰の設置確保等、可能な範囲で創意工夫していければと思います。



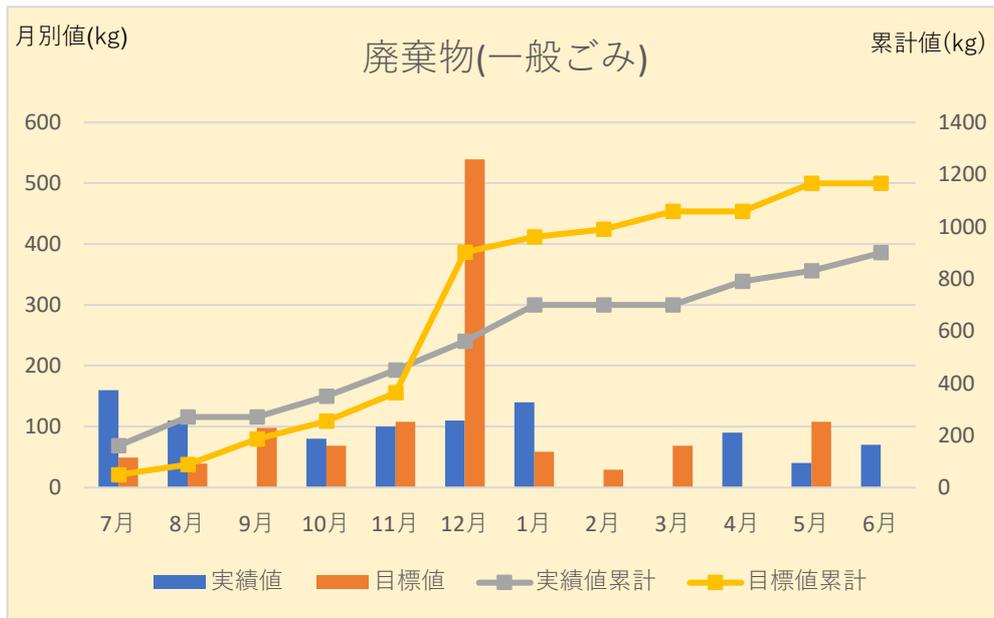
GNSSを用いた転圧



一般廃棄物・産業廃棄物の削減



取組結果



目標値	実績値	評価
1,166	900	○

廃棄物(産業廃棄物)

品名	排出量(t)	リサイクル量(t)	
コンクリート殻	1,055.93	1,055.93	100.0%
アスコン殻	3,618.00	3,618.00	100.0%
木材	271.50	271.50	100.0%
混合廃棄物	21.71	17.67	81.4%
建設汚泥	8.79	8.79	100.0%
金属くず	6.52	5.31	81.4%
廃プラスチック	7.67	6.24	81.4%
合計	4,990.12	4,983.44	99.9%

※混合廃棄物=0.26t/m³

目標値	実績値	評価
98.0%	99.9%	○



取組の評価

取組内容

- ・ ゴミの分別回収の実施
- ・ 再生可能資源のリサイクル
- ・ 紙資源排出量の削減
- ・ コピー用紙の両面使用
- ・ ペーパーレス化の推進

取組結果

-
-
- △
- △
-

取組評価

一般廃棄物排出量は、昨年度(860kg)より若干増えたものの、目標値をクリア出来ています。ただし、月単位で基準年度と比較すると、やや多くなっていることが見られます。紙資源については、減量の実施が出来ていると思うので、廃棄物の傾向等の調査検証が必要であると考えます。

産業廃棄物リサイクル率に関しては、高い基準を保っています。各現場毎に廃棄量を抑えられています。昨年度より廃プラスチックを含めた建設混合廃棄物量が増えている原因は、工事の中で、設計上の廃棄物が多量にあった事と、倉庫の改修を行ったためです。

来年度取組目標

一般廃棄物排出量については、廃棄物の内訳の傾向を検証し、それに対しての有効的な対策を考えていきたいです。それに伴い、必要によっては手順書の改定も視野に入れておきます。

産業廃棄物リサイクル率に関しては、来年度も本社発生分の建設混廃の削減を中心に行っていきます。また、混合廃棄物回収用のクリーンボックスの廃棄ルール(社内、排出先共に)を明確にして、適正処分を心掛けていきます。



ゴミ減量の掲示



紙ゴミ分別ブース



地域貢献・ボランティア



取組結果

目標値	実績値	評価
1回	1回	○



取組の評価

取組内容

- ・ 河川敷の清掃活動
- ・ 建設業協会主催の清掃活動への参加
- ・ 各工事現場の清掃活動の実施

取組結果

-
-
-

取組評価

地域貢献ボランティアにおいては、今年度も8月に行われた建設業協会主催のボランティア活動に参加してきました。毎年行われているので、欠かさず参加を心掛けて取り組んでいきたいと思ひます。また、会社周辺の除草作業等も適宜実施する事が出来ました。

来年度取組目標

引き続き建設業協会主催の河川敷での清掃活動に参加していき地域貢献、ボランティアに努めていきたいと思ひます。また、本社及び工事現場単位での除草を含めたボランティア活動も引き続き実施していきたいと思ひています。



建設業協会除草作業



現場周辺除草作業



水資源節約



取組結果

目標	実績	評価
節水に努める	配慮出来た	○



取組の評価

取組内容

- ・ 節水シール貼付、節水呼びかけ
- ・ 道路散水用の水の自然水利用(河川法適用外)

取組結果

○
○

取組評価

井戸水を使用している為、明確な使用量の把握は出来ませんが、会社全体として、給湯室への節水シールの貼り付けや掲示等で十分な呼びかけは出来ています。

また、道路散水用の水は、水道水ではなく、本社井戸水又は、普通河川より取水(河川法適用外)し、利用できています。

来年度取組目標

屋内作業では節水が徹底されているので、来年度は屋外作業(洗車や給水)での蛇口の締め忘れや、漏水の防止に努めていきたいと考えます。また漏水の目視調査等も定期的にも実施していきます。



グリーン購入



取組結果

目標	実績	評価
積極的に採用	実施出来た	○



取組の評価

取組内容

- ・ 事務用品適合品の購入推進

取組結果

○

取組評価

グリーン購入においては、事務用品をカタログ購入する際に、各メーカーがグリーン購入法適用品を取り揃えており、それを積極的に社内事務用品の買い替えの度に採用している事から、徐々に適用品使用が拡大されている事の表れだと思えます。また、現場安全施設の木製バリケードも、間伐材使用のバリケードを購入しており、事務用品以外にも意識が浸透しています。

来年度取組目標

引き続きグリーン購入の目標達成継続のためにグリーン購入ガイドラインを読み環境物品等の調達推進の意義を周知していくように努力します。また一般的に購入する事務用品は、現在はほとんど適合商品なので、基本的にな毎年達成されていく状況です。現場資材についても、リサイクル材料を選定し購入・利用していく予定です。



(様式第6号)

静岡県産材販売管理票 (副) 様式交付：静岡県木材協同組合連合会

一次・二次・三次 () 令和 年 10 月 18 日

管理票番号 (登録業者番号 1097) - (発行番号 110) - (市町番号 66)

藤野建設 (株) 様

品番・品名	L(長さ)	W(幅)	H(厚さ)	数量	材種	備考
木製バリケード				10	杉	
合計						

注：①原木・丸太：[W] を末口径と読み替え、[H] は記載しない。
②加

本証は、静岡県産材の販売を証明するために定めた様式で、静岡県木材協同組合連合会々長が認定した県産材取扱業者のみが発行できるものです。



工事現場の環境配慮



取組結果

目標	実績	評価
意識して実施	実施出来た	○



取組の評価

取組内容

- ・ 環境配慮型重機の使用
- ・ 環境へ配慮した備品の整備、使用
- ・ 環境を考慮した創意工夫・地域貢献実施

取組結果

-
-
-

取組評価

今年度も環境配慮型の重機の100%使用が達成できました。ICT対応型バックホウの使用により、軽油使用量の削減が期待できます。情報化施工を推進しているので、効率的な作業が行う事が期待でき、軽油の削減効果に期待できます。

その他現場備品についても、太陽光電源を用いた照明施設等、環境に配慮した製品の使用が進んでいると思います。

来年度取組目標

来年度も環境配慮型重機の使用100%を目指していき、施工中の環境配慮も行うように心掛けていくように努力します。またその他備品も、環境に配慮した製品の使用を心掛けていきたいと思ひます。



ソーラーパネル搭載の現場事務所



低騒音排ガス対策機械



環境経営計画取組評価と来年度の取組み

対象	環境目標項目	判定	取組み	
	取組み項目		本年度評価	来年度取組内容
CO ₂ 排出量削減	①電気使用量の削減の取組み			
	未使用時・休憩時の消灯	○	PC、電灯等こまめな消灯を遂行できている。	引き続き行うように心がける。
	本社内のスイッチにステッカーを掲示	○	ステッカーを用意し、常時社員が見える位置に設置した。	引き続き行うように心がける。
	未使用時、機器の電源を切る	○	PC、電灯等こまめな消灯を遂行できている。	引き続き行うように心がける。
	節電機能のある機器を積極的に活用する	○	古い機器の買い替え等、検討課題は議題に挙がっている。	効率的な買い替え等、今後検討する。
	空調温度の管理を行う	○	不在時は電源を切って外出が出来る。	健康管理、事業の推移により、再考する必要がある。
	室温を夏場26℃、冬場23℃程度になるよう設定する	△	猛暑日には26℃でも耐えられない日があるので、健康管理的には、仕方がない部分ではあると思う。	夏場は26℃～25℃の中で極力頑張る。その分、エアコンの稼働時期等を考慮する。
	②ガソリン・軽油使用量の削減			
	工事用重機の整備点検を行う	○	重機の整備点検は使用前に必ず確認をし、安全な施工をした。	怪我がないように毎回整備点検を行っていくようにしていく。
	毎朝作業前に自主点検を行う	○	自主点検を行い、安全に努めて活動ができていた。	事故防止のために今後も引き続き行うようにする。
	工事用重機の省エネ運転の実施	○	下がってきているが目標に届くことができなかった。	軽油の使用量等削減できているのでこの調子のままつなげてほしい。
	過積載・過負荷による作業の防止	○	過積載防止に日頃から努める事が出来ている。	引き続き行うように心がける。
	エコドライブの徹底	○	運転時の意識向上ができガソリン使用量が減ってきている。	エコドライブ10のすすめに目を通してもらい実行できるようにする。
	社用車の定期整備点検	○	定期点検は確実に実施されている。	定期点検以外でも、異音や不調等があれば、早い対処を心掛ける。
	③その他			
	照明灯を蛍光灯からLED灯に変更	—	今年度は予定なし。	来年度変更予定なし
エコ家電の導入	—	エアコンの入れ換え実施。	今後、移行の予定あり。	

対象	環境目標項目	判定	取組み	
	取組み項目		本年度評価	来年度取組内容
廃棄物搬出量削減	一般廃棄物・産業廃棄物削減			
	ゴミの分別回収の実施	○	混廃排出量削減の意識は、かなり浸透していると思う。	混廃ボックスへの投棄ルールを明確にする。
	再生可能資源のリサイクル	○	ゴミの分別を行い、リサイクル可能なものに関してはリサイクルとして排出した。	環境保全のため来年度も継続して取り組んでいくようにする。
	紙資源排出量の削減	△	紙ゴミリサイクルの分別ブースを設置したが、効果は検証中。	分別スペースを引き続き有効活用し、工夫を重ねる。
	コピー用紙の両面使用	△	実施は出来ているが、効果・実績の検証が必要。	紙資源削減のため会社全体で再度周知し、取り組んでいく。
ボランティア活動	ペーパーレス化の推進	○	回覧文書のデータ化等、ペーパーレス化は進んでいる。	来年度も引き続き行うようにしていく。
	ボランティア活動			
	河川敷の清掃活動	○	定期的に清掃活動を行う事が出来た。	来年度も引き続き行うようにしていく。その他ボランティアも積極的に行う。
地域貢献	建設業協会主催の清掃活動への参加	○	8月に実施。参加する事が出来た。	来年度も引き続き行うようにしていく。
	各工事現場の清掃活動の実施	○	各工事現場ごとに清掃活動を行い地域貢献・ボランティアに努めることができた。	継続して工事現場、その周辺を常に綺麗に保ち、施工を行う。
グリーン購入	グリーンマーク適合品の採用			
	事務用品適合品の購入推進	○	事務用品だけでなく、安全備品等に関してもグリーンマーク及び環境配慮商品を購入している。	今後も、対象商品を選定したうえで購入していく。
工事現場の環境配慮	工事現場の環境への配慮			
	環境配慮型重機の使用	○	環境配慮型重機の100%使用が達成でき、環境に配慮された施工ができた。	来年度も環境配慮型重機の使用100%を目指して取り組んでいきたい。
	環境へ配慮した備品の整備、使用	○	環境配慮製品の使用はできていた。	社内で環境製品購入を検討していく。
水資源	環境を考慮した創意工夫・地域貢献実施	○	現場単位で、実施が出来ている。現場特性によって多種の実施事例がある。	次年度も、各現場で実施していく。
	節水			
節約	節水			
	節水シール・呼びかけ	○	給湯室に節水シールを貼ることで節水を呼びかけることができた。	引き続き節水シールを貼っていき呼びかけていく。
	道路散水用の水の自然水利用(河川法適用外)	○	実施出来ている。	引き続き実施していく。



8. 産業廃棄物処理実績



産業廃棄物収集運搬状況

※自社排出、自社収集運搬分のみ

表.1 産業廃棄物収集運搬内訳

廃棄物の種類	台数	数量(t)
コンクリート殻	178	1,035.45
アスコン殻	75	460.40
伐採木材	5	20.00
建設混廃	2	1.17
建設汚泥	2	0.04
金属くず	1	4.96
合計	263	1,522.02

表.2. 搬出先内訳

搬出先(最終処分場)	台数
西部合材リサイクルセンター(協)	152
浜北砕石(株)	78
西遠アスコン共同企業体	21
(株)中野町チップ浜北	5
中村建設(株)LSSプラント	2
中野町産業(株)	2
リサイクルクリーン(株)	2
大興金属(株)	1
合計	263

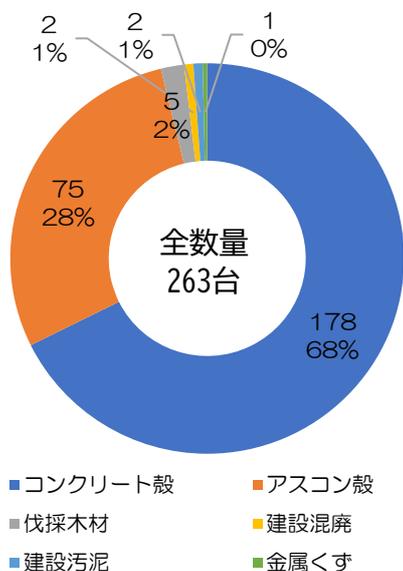


図.1 産業廃棄物収集運搬内訳

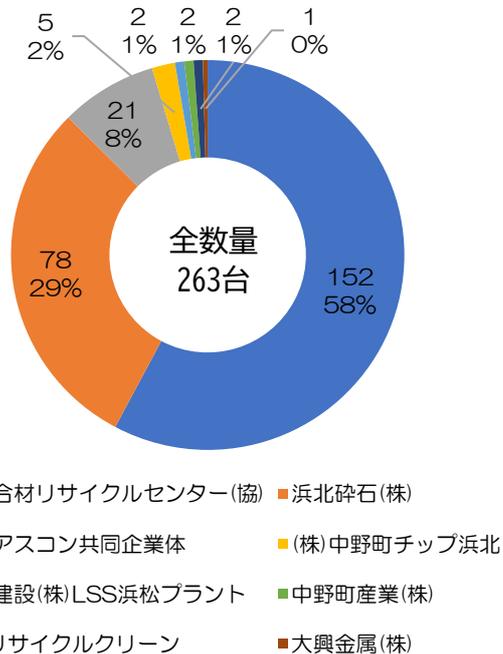


図.2. 搬出先内訳

産業廃棄物の収集運搬については、自社を排出事業者として収集運搬し、所定の搬出先まで適切に運搬されています。搬出先の処分業者は全て産業廃棄物処分業許可を取得している業者と確認出来ます(全263件中263件)。また、自社搬出分は全て公共工事において発生する産業廃棄物であり、厳しい管理のもと処分までの確認を行っています。

産業廃棄物収集運搬の管理については、全て電子マニフェスト(JW-NET)を利用し管理しています。



9. 環境関連法規

1. 環境関連法規等の遵守状況

令和2年6月30日

環境関連法規等の名称	概要	適用・該当項目の詳細	遵守状況
廃棄物処理法	産業廃棄物の適正な処理	収集運搬・処分業者の許可確認及び契約の締結(契約書の5年間保存)	○
		マニフェストの交付・保存(電子マニフェスト)	○
		マニフェストの交付状況の報告	○
		許可内容の更新・運搬車両への提示	○
		多量排出事業者の責務(計画書・報告書)	○
	現場保管	保管場所の掲示板設置	○
リサイクル法	指定副産物の適正な処理	指定副産物の発生抑制、再生利用の努力	○
		再生資源利用計画書・実施書、再生資源利用促進計画書・実施書の作成	○
建設リサイクル法	新築工事及び解体改修工事	工事着手する日の7日前までに必要事項を都道府県知事に届け出	○
		発注者への書面による計画等説明及び完了報告	○
		分別解体等	○
		再資源化等の促進、再生資源の使用	○
騒音規制法 静岡県生活環境の保全等に関する条例	特定建設作業における振動規制基準の遵守など	作業開始の7日前までに届出	該当なし
		規制基準の遵守(低騒音型建設機械の使用等)	該当なし
振動規制法 静岡県生活環境の保全等に関する条例	特定建設業における振動規制基準の遵守など	作業開始7日前まで届出	該当なし
		規制基準の遵守(低騒音型建設機械の使用等)	該当なし
オフロード法	CO2排出量の抑制	現場で使用されている建設機械の適合基準の表示	○
家電リサイクル法	特定家庭用家電の排出処分	小売店へ料金を支払い引渡す又は自治体指定の方法で引取り依頼	○
小型家電リサイクル法	使用済小型電子機器の排出処分	小売店へ料金を支払い引渡す又は自治体指定の方法で引取り依頼	○
自動車リサイクル法	廃棄自動車の適正処分	リサイクル料金の支払い又は指定回収業者への廃車の引渡し	○
グリーン購入法	グリーン製品の購入	コピー用紙等事務用品のグリーン購入の推進	○
浄化槽法	水質汚濁の防止	浄化槽の設置届出	○
		浄化槽の定期的な保守点検及び清掃、水質の定期検査	○
消防法	危険物の貯蔵・取扱	危険物取扱者の標識と掲示板の提示	○
フロン排出抑制法	第一種特定製品のエアコン 建機用エアコン	簡易点検記録	○

2. 違反・罰則・提訴の有無

当社が遵守すべき環境関連法規及び条例について、違反はありませんでした。
また、関係当局から指導・指摘、近隣・利害関係者からの提訴もありませんでした。

令和2年7月1日

(確認者) 事務局: 倉田 茉奈、名倉 美明



10. 代表者による評価と見直し

令和2年8月20日

報告	作成
名倉	倉田

1. 見直し関連情報

項目	確認:(必要に応じてコメント)
1 エコアクション21文書	<input checked="" type="checkbox"/> 記録文書として作成しました。
2 環境目標及び目標達成状況	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成が確認出来ました。
3 環境活動計画及び取組み実施状況	<input checked="" type="checkbox"/> 計画通り実施されています。
4 環境関連法規要求一覧及び遵守状況	<input checked="" type="checkbox"/> 記録に記載しました。遵守されています。
5 外部コミュニケーション・対応記録	<input checked="" type="checkbox"/> 記録されています。問題ありません。
6 問題点の是正・予防措置の実施状況	<input checked="" type="checkbox"/> 適宜記録保管されています。
7 その他()	<input type="checkbox"/>

2. 代表者による全体評価、見直し指示

今年度、社内の意識として、「会社の環境的経営力向上」という身近な視点にて年度当初に社内勉強会を実施して、エコアクションについて見直す機会となりましたが、全体的に昨年度以上に実施数値に改善が見られ、良い傾向にあると思います。各部署ごとに備品整備、意識改革の両方が改善されている成果です。

来年度のエコアクション環境経営活動については、社会を取り巻く環境が、今年度後半より激変しました。猛烈な暑さと新型コロナウイルスの影響による新しい生活習慣の元に於いて、事業の継続・従業員の安全と健康を考慮した中で、創意工夫をもって環境経営活動を継続していくつもりです。各部署、各個人でも、それぞれの置かれている状況下において、自身の体調・健康管理を考慮しながら、環境経営方針を熟知し、活動に取り組んで欲しいと思います。

令和2年8月21日

藤野建設株式会社

代表取締役 藤野 慶一

見直し項目	改正の必要性	内 容
1 環境経営方針	有 <input checked="" type="radio"/> 無	2017年度版に改定済
2 環境経営目標	有 <input checked="" type="radio"/> 無	変更なし
3 環境経営計画	有 <input checked="" type="radio"/> 無	今年度一部変更加筆
4 実施体制	有 <input checked="" type="radio"/> 無	変更なし
5 その他のシステム要素	有 <input checked="" type="radio"/> 無	変更なし
6 その他(外部への対応)	有 <input checked="" type="radio"/> 無	変更なし